

令和2年度 佐賀県学習状況調査の結果（12月2、3日実施・5年生）

- ◎ 本資料では、東部小学校全体（各学年）の結果について考察しています。別紙にてお知らせしている、「お子様の個票（調査結果票）」や、後日配布します問題用紙及び解答用紙と併せて振り返っていただき、今後の学習に活かすことができるような資料としてお役立てください。

1 【国語】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「書くこと」、「読むこと」については、到達基準（県の定めた期待正答率：それぞれ 56.0、50.0）を上回りました。

しかし、言葉に関する「知識・技能」、「話すこと・聞くこと」については、到達基準（それぞれ 64.0、56.0）を下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

知識・技能

- ・ 文と文とのつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができています。一方で、ことわざや慣用句の意味の理解、修飾と被修飾との関係の理解に課題があります。

話すこと・聞くこと

- ・ この領域が、5年生での一番の課題です。意図や自分の立場を明確にして話し合うこと、話の内容が明確になるように構成を考えることに課題があります。

書くこと

- ・ 事実と感想、意見とを区別して書くことができています。一方で、目的や意図に応じ記事に見出しを付けること、目的や意図に応じ必要な内容を整理して書くことに課題があります。また、算数科にも関連しますが、グラフを基に分かったことを的確に書くことにも課題が見られました。

読むこと

- ・ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができています。一方で、事実と感想などの関係を叙述を基に捉えること、目的に応じて必要な情報を見つけ、比較して読むことに課題があります。

2 【算数】

(1) 結果（県の正答率との比較）

「知識・技能」、「測定・変化と関係」については、到達基準（それぞれ 57.1、40.0）を上回りました。

しかし、「思考・判断・表現」、「数と計算」、「図形」、「データの活用」については、到達基準（それぞれ 41.4、50.0、50.0、48.3）を下回りました。

(2) 成果と課題（学校正答率より）

数と計算

- ・ 加法と乗法の混合計算、小数の乗法の計算はよくできています。一方で、分数の意味や表し方についての理解に課題があります。

図形

- ・ 合同の理解に課題があります。また、正方形や二等辺三角形などについて示された考え方を解釈し、それをを用いて、他の場面の考え方を説明することにも課題が見られました。

測定・変化と関係

- ・ 条件に合った時刻を考えることができています。一方で、示された情報を基に単位量当たりの大きさや平均を用いて、判断した理由を説明することに課題があります。また、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、問いについての求め方を説明することにも課題があります。

データの活用

- ・ 折れ線グラフの読み取りや、読み取られたものを説明することがよくできています。一方で、仮の平均の求め方を判断すること、二次元表に示された数値が表す意味を理解することに課題があります。